

平成22年度

予算概要

総額302億8,737万円のまちづくり

総額は前年度比3.3%増

平成22年度予算は、一般会計が199億8,800万円（前年度比9.2%増）、特別会計7会計の合計が96億460万円（前年度比5.6%減）、企業会計2会計の合計が6億9,477万円（前年度比18.9%減）となり、総額は302億8,737万円（前年度比3.3%増）となりました。

歳入の見込み

↓市税は景気の低迷等により法人市民税等の大幅な減少が予想されるため、対前年度で約1億3,536万円の減額を見込んでいます。
↓地方交付税は、地域活性化雇用等臨時特例費が新設されますが、公債費分の減額等に

より前年度と同額を見込んでいます。

歳出の見込み

「建設事業」
主要建設事業審査に基づき「火葬場整備事業」「南但ごみ処理施設建設」「関宮中学校耐震化事業」など喫緊の課題である事業とその他優先度の高い事業を実施します。対前年度で6億円の増額となります。

「職員数」

一般職員の人数は、退職者補充を抑制し、19人削減します。（退職23人、採用など4人）

「給与などの減額」

市議会議員報酬10%カット（継続）

市長・副市長・教育長報酬10%カット（継続）

一般職員住居手当（持ち

家分）の廃止（新規、管理職手当の定額制への移行（継続）県内出張に係る日当の廃止（継続）

「経常経費の削減」

事務事業評価により事務事業の徹底した見直しを図り、その結果を予算編成に反映し、経常経費の削減を進めています。

市債残高・基金残高の見込み

「市債残高の見込み」

平成22年度末の市債残高は536億7,923万円と、前年度末に比べて15億4,123万円減少する見込みです。市債残高を市民1人当たり

に換算すると約193万円となります。（平成22年3月1日現在人口27,756人で計

算）。

「基金残高の見込み」

市の基金には、貯金にあたる「財政調整基金」、借金の返済を計画的に進めるための「減債基金」、福祉や学校整備などの特定目的のための「特定目的基金」があります。平成22年度末の残高は、それぞれ15億6,140万円、4億3,193万円、30億3,870万円となる見込みです。基金残高を市民1人当たりで換算すると約18万円となります。（平成22年3月1日現在人口で計算）。

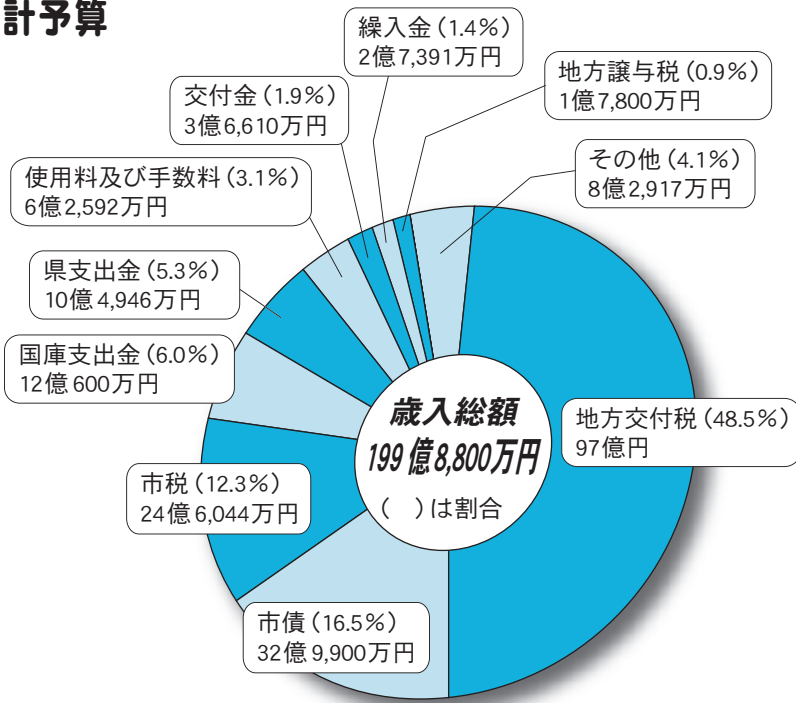
各会計予算額

会計名	予算額	前年度との比較	
一般会計	199億8,800万円	16億9,100万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	33億2,530万円	2,630万円
	養父歯科診療所特別会計	5,210万円	60万円
	後期高齢者医療特別会計	3億7,400万円	1,780万円
	老人保健特別会計	100万円	△1,200万円
	介護保険特別会計	33億820万円	5,420万円
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	0万円（廃止）	△535万円
	簡易水道事業特別会計	9億4,960万円	△4億7,180万円
	下水道事業特別会計	15億9,440万円	△1億7,730万円
計	96億460万円	△5億6,755万円	
企業会計	水道事業会計	5億5,350万円	△1,442万円
	氷ノ山国際スキー場事業特別会計	1億4,127万円	△1,660万円
	農業共済事業特別会計	0万円（廃止）	△1億3,067万円
	計	6億9,477万円	△1億6,169万円
合計	302億8,737万円	9億6,176万円	

一般会計予算

一般会計(歳入)

市に入る1年間のお金が歳入です。市民の皆さんに負担していただく市税は、前年度比5・2%減の24億6,044万円を見込んでいます。市民1人当たりに換算すると8万8,645円(平成22年3月1日現在人口で計算)を納めていただくこととなります。市税や使用料など市独自の



収入(自主財源)は歳入全体の約21%しかなく、残りの約79%は国から交付される地方交付税、国庫からの支出金、市債(市の借金)などで、非常に足腰の弱い財政構造となつていきます。歳入の中で最も多くの割合を占めるのは地方交付税で、歳入の約48・5%、97億円(前年度と同額)を見込んでいます。

一般会計(歳出)

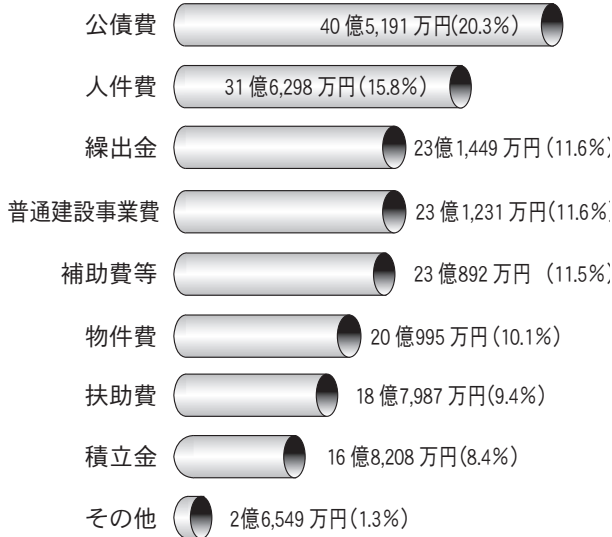
市が1年間に使うお金が歳出です。市民1人当たりに換算すると72万1333円(平成22年3月1日現在人口で計算)です。歳出の中で最も多いのは借金の返済金にあたる公債費で、40億7,234万円、歳出全体の20・4%を占めています。これは、後年度の公債費負担を少しでも軽減させるために5億2,878万円の繰上償還を実施することに伴うものです。

次いで民生費の39億3,601万円(歳入全体の19・7%)、衛生費の26億6,341万円(歳出全体の13・3%)となります。歳出を性質別(物を買う、道を作るといった「どのよう」に使うか)で分類したものにみても、最も多いのは公債費で、40億5,191万円、歳出全体の20・3%を占めています。次いで人件費の31億6,298万円(歳出全体の15・8%)、他会計への繰出金23億1,449万円(歳出全体の11・6%)

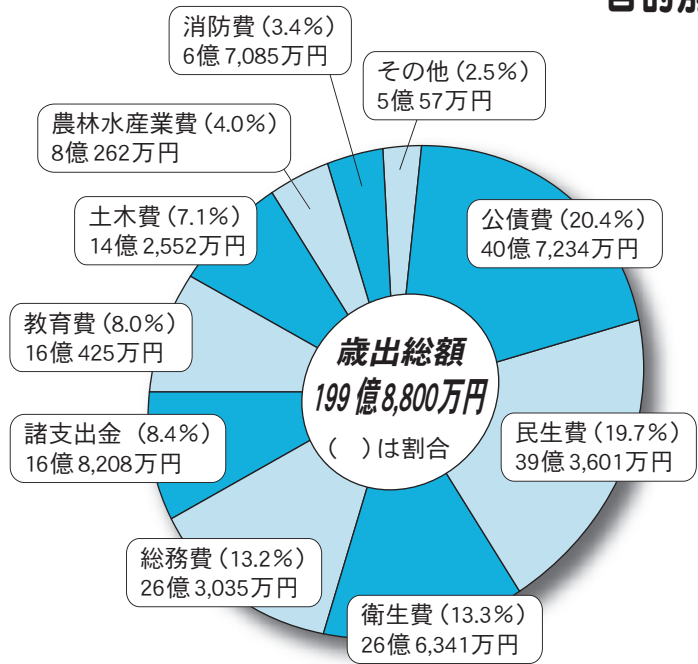
平成22年度 主要事業

- 1 「安心」と「安全」なまちづくり
 - ↓ 関宮中学校耐震化事業【新規】…………… 3億4,732万円
 - ↓ 防災ステーション建設事業…………… 9,630万円
 - ↓ 河川監視用Webカメラ設置事業【新規】…………… 552万円
 - (Webカメラを市内5カ所に設置し、映像をホームページで配信)
 - ↓ 消防積載車購入事業…………… 3,598万円
 - ↓ 常備消防車輛整備事業…………… 4,983万円
- 2 ともに働くまちづくり
 - ↓ 養父市総合計画策定…………… 281万円
 - ↓ 自治協議会の支援…………… 4,400万円
 - ↓ 集会所整備事業【新規】…………… 3,657万円
 - ↓ 「仮称」養父市民音頭制作事業【新規】…………… 127万円
- 3 市民が健康で元気なまちづくり
 - ↓ 八鹿病院負担金…………… 9億5,277万円
 - ↓ 診療所の運営…………… 7,266万円
 - ↓ 高齢者等温泉入浴サービス事業…………… 222万円
 - (市内70歳以上の高齢者および障害者手帳を持つ市民を対象に1回につき2000円を割り引き)
 - ↓ 高齢者等優待乗車証交付事業…………… 2,073万円
 - (市内70歳以上の高齢者および障害者手帳を持つ市民を対象に市内1乗車につき150円で利用が可能)
 - ↓ 移送サービス・障害者移送費用負担軽減事業【新規】…………… 806万円
- ↓ 肺炎球菌ワクチン接種の一部助成【新規】…………… 88万円
- (肺炎及び基礎疾患の重症化予防を目的に基礎疾患のある高齢者、約200人に対し、ワクチンの接種費用の1/2を助成(上限4,000円))
- ↓ 健康予防事業(市民ドックなど)…………… 4,252万円
- ↓ 4 活力あるまちづくり
- ↓ 南但馬有機集配センター整備事業…………… 8,900万円

性質別にみる一般会計予算



目的別にみる



※性質別とは、「物を買う」「道を作る」といった「どのように使うか」で分類したものを。

また、新たに施設（道路、学校など）をつくるための経費である普通建設事業費は23億1,231万円（歳出全体の11.6%）で、前年度比35.1%の増となります。これは「火葬場整備事業」「南但ごみ処理施設建設」「関宮中学校耐震化事業」など喫緊の課題が集中した結果大きな伸びとなったものです。

特別会計・企業会計

特別会計とは、特定の歳入歳出を一般会計とは別に経理を行う会計で、国民健康保健特別会計、簡易水道特別会計などの7つの特別会計を設置しています。特別会計の合計は96億460万円（前年度比5.6%減）となります。

↓ふれあい交流施設整備	1,750万円
↓市内案内看板設置事業【新規】	2,000万円
（北近畿豊岡自動車道周辺への観光サインを整備）	
↓養父市観光活性化推進事業【新規】	1,600万円
（市内全域でツアー等の企画、販売やPR活動を行う）	
↓伝統的建造物景観調査事業【新規】	300万円
（養蚕農家群、鉦山町の国の重要な文化的景観選定に向けて調査）	
↓明延鉦山メモリアルパーク整備事業【新規】	125万円
（譲渡を受ける一円電車の機関車の一部導入費を支援）	
5 安心して子どもを生み育てられるまちづくり	
↓養父市高校生バス通学補助事業【新規】	1,000万円
（高校生のバス定期代の一部補助）	
↓養父幼児センター建設事業【新規】	1億4,900万円
↓子ども手当支給事業【新規】	3億8,194万円
↓学童保育の充実	2,591万円
（学童保育の受入対象の拡大、利用時間などの延長）	
↓妊婦健康診査費補助事業【新規】	1,360万円
（県助成の削減分を市費で補填し、事業を継続実施）	
↓日本脳炎予防接種事業【新規】	574万円
↓ヒブワクチン接種の一部助成【新規】	288万円
（2歳未満児を対象に予防接種費用の1/2を助成）	
↓子宮頸がんワクチン接種の一部助成【新規】	183万円
（中学校1年生女子を対象に接種費用の2/3を助成）	
↓こども医療費助成【新規】	72万円
（小学4年生から中学3年生までの児童・生徒の入院に対して、自己負担額の1/3を助成）	
6 快適なまちづくり	
↓養父市環境基本計画策定事業【新規】	800万円
（温室効果ガス、ゼロエミッションシティを合わせた基本計画の策定）	
↓琴弾クリーンセンター跡地整備【新規】	512万円
↓南但ごみ処理施設整備事業	505万円
↓道整備交付金道路整備事業（鶴縄線ほか2路線）	1億8,250万円